



akutu

森の小屋

静かに森を満喫する小屋を提案する。

人ひとり分のスペースしかないの最小限の建築。

中には腰かけが一つと天井に開口が一つのみの木造空間。

これが私の考えるひとりの小屋「あくつ」である。

森の中、森の傍、街中、公共の場、屋内

あらゆる場所に設置することで鎮守の森を思い出すきっかけを点在できる。

人と森と神社が繋がる。

電話、読書、休憩、待ち時間

少しだけの間、静かなひとりの時間がほしい

そんなときに誰でも利用可能。

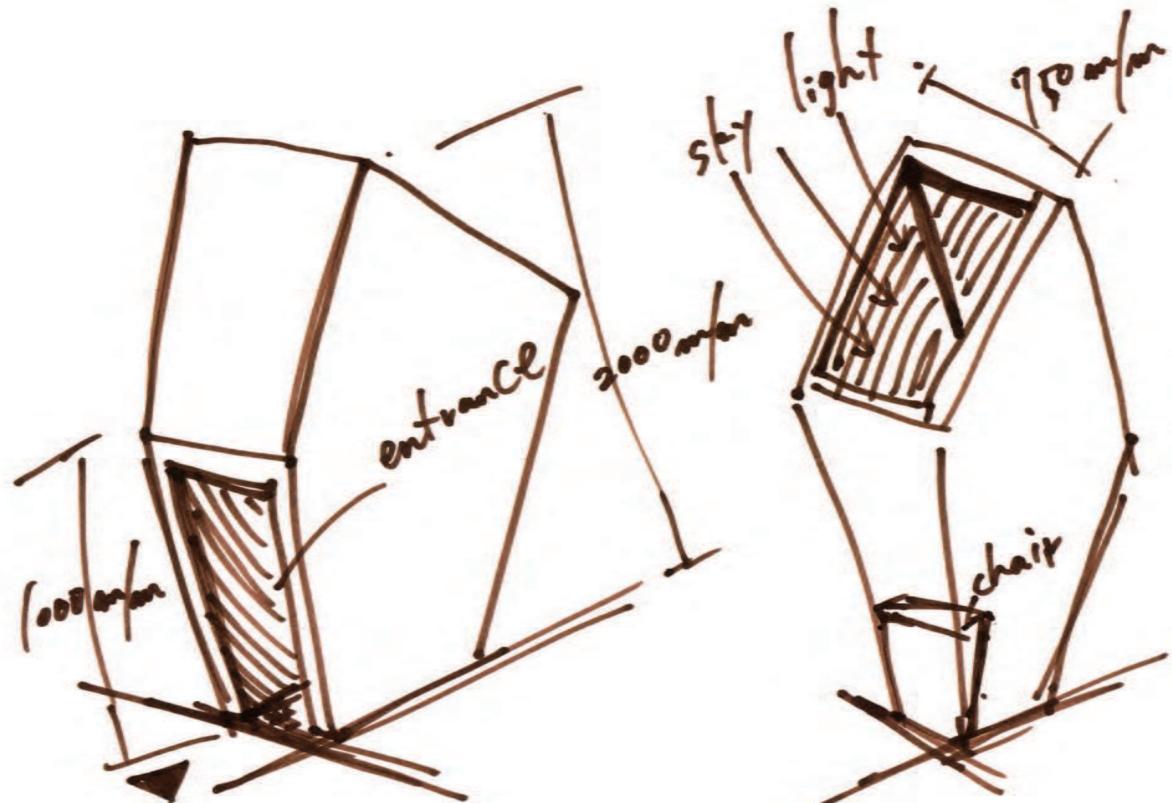
座っても外からの目線が気にならないように入口は低め。

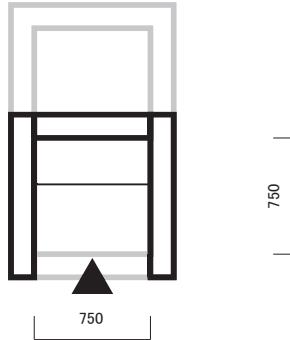
閉鎖的になりすぎないように上部は開口してある。

上部の開口が森の風景を切り取る。

森の中でこの小屋でひとりの時間を楽しくすごせるように。

少しでも鎮守の森を思い出してくれるよう。

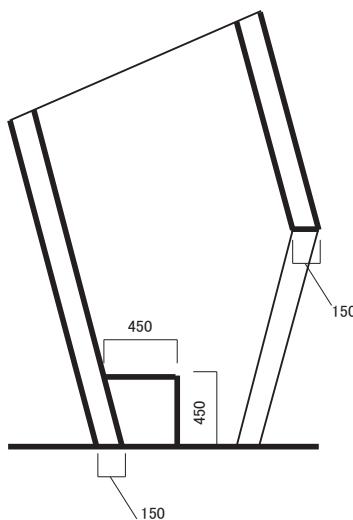
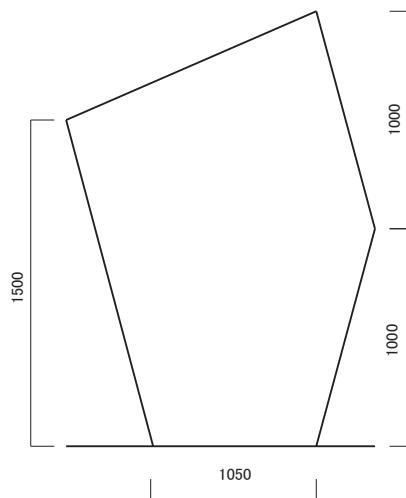




使用する木材は
ナラ、シイ、アベマキ等の
有用木のほか
最近多く材として使用され
ているタケ等も使用可能。

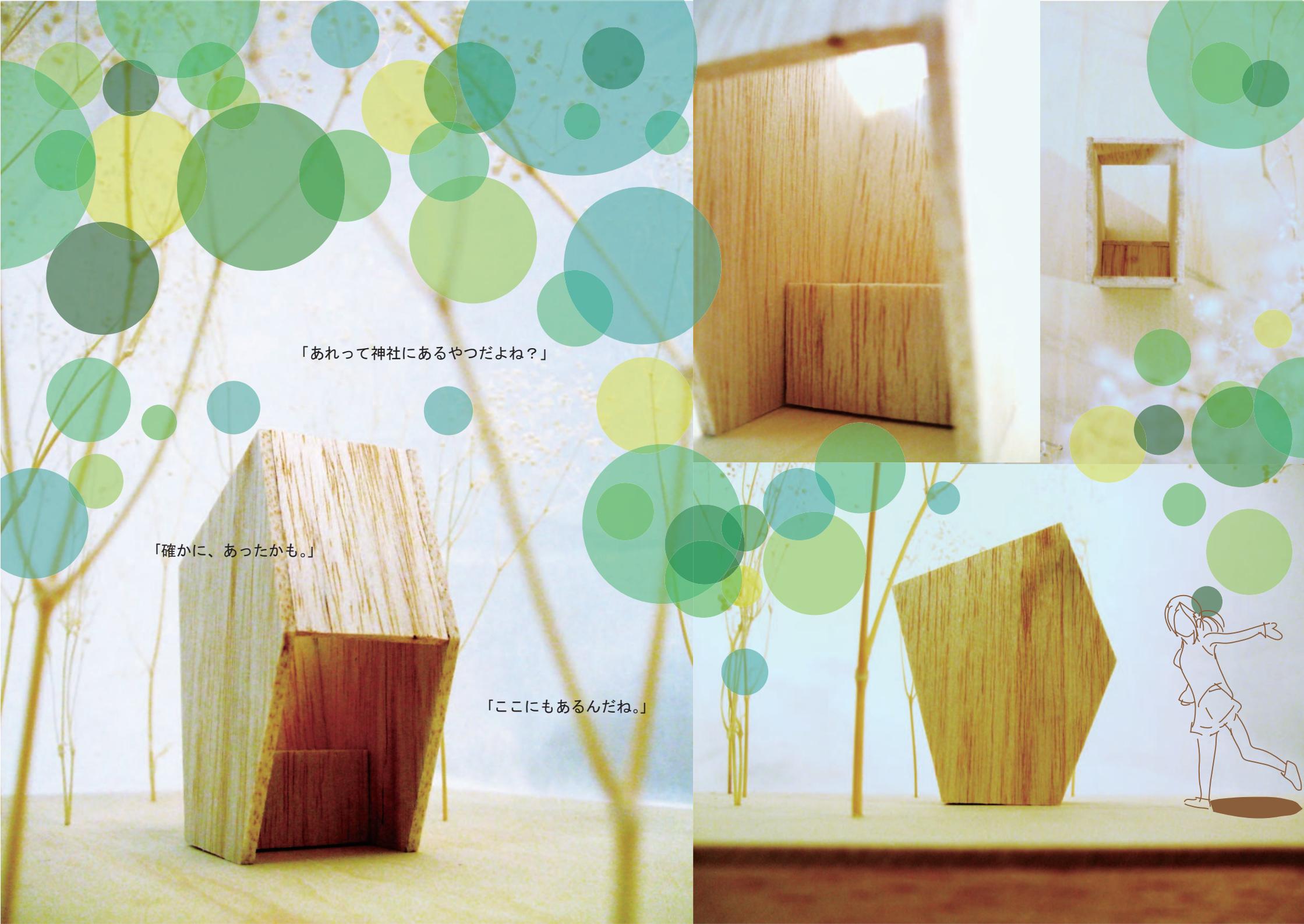
単一の木材を使用しても良
いが、材にできるものなら
ば小屋ごとに複数種の木を
使用し様々な表情の小屋を
あらゆるところに配置して
も面白く、より鎮守の森に
興味を寄せてもらえる。
例えば、場所やエリアごと
で使用する材を変えるなど。

←上から平面図
立面図
断面図



上からタケ材→
ナラ材
ナラ材別部位
シイ材





「あれって神社にあるやつだよね？」

「確かに、あったかも。」

「ここにもあるんだね。」